

佐賀県糖尿病コーディネート看護師 育成・支援事業

概要

- ・ 挨拶（安西）
- ・ 経緯
- ・ 糖尿病コーディネート看護師とは
- ・ 「ストップ糖尿病」対策事業

活動について

- ・ 活動の図
- ・ 活動紹介

実績

- ・ 契約医療機関
- ・ 登録患者数
- ・ 活動実績
- ・ 新規透析導入患者の推移

糖尿病コーディネート 看護師育成研修

- ・ 育成プログラム
- ・ 育成人数
- ・ 連絡会の開催



コーディネート看護師の皆様、そして育成・支援事業を支えて頂いた看護師、医師、事務局、行政の皆さん、この度は鈴木万平国内賞受賞おめでとうございます。今回の受賞は皆さんののチームに頂いたものです。

1997年に筑後・佐賀糖尿病療養指導士制度が発足し、当時は糖尿病療養指導士(CDE)の活動の場は、主に所属医療機関内でした。それが2012年佐賀県の糖尿病からの新規透析導入患者の伸び率が全国一位であったことから、糖尿病対策が県の喫緊の課題となり、佐賀大学の看護師、若手の医師がCDEの資格を有している看護師さんの有志の方に研修を行い、コーディネート看護師として、「患者さんを地域でまもる」を合言葉にかかりつけ医療機関の支援活動を始めました。最初は慣れない医療機関訪問や行政との連携など大変な苦労がありましたが、毎月活動報告と研修を行い、チームで励まし合いながら事業を進めました。その活動は県全体に広がり、医療機関や行政からの信頼を得られ、新規透析導入患者数は減少してきました。

その成果は医師会、県、厚労省からも高く評価されてきました。

この数年はコロナ下の中でコーディネート看護師さんは思うような活動が出来ず、さぞかしもどかしい思いをされたことと思います。今回の受賞が皆さんの背中を押してくれる力となり、さらに所属する医療機関や地域での支援を得て、益々活躍されることを期待しています。これからもチームで喜びを分かち合いながら、仲間を増やし患者さんを地域でまもってください。

私は佐賀大学を退任しましたが、これからも皆さんのお役に立てるように支援していきます。

概要：経緯

平成24年 (2012)	糖尿病コーディネート看護師育成・支援事業開始 ・ 地域医療再生基金事業の活用(～2015) ・ 県内の糖尿病の基幹病院9施設に糖尿病コーディネート看護師誕生20名
平成28年 (2016)	「ストップ糖尿病」対策事業開始 ・ 基幹病院8施設、かかりつけ医、専門医療機関、保険者等、関係者の連携体制を構築 ・ 糖尿病コーディネート看護師の活動が事業に組み込まれる ・ 日本糖尿病対策推進会議、日本医師会、厚生労働省の三者共同における「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」策定
平成29年 (2017)	「ストップ糖尿病」対策事業 ・ 2次医療圏単位の会議に糖尿病コーディネート看護師が出席し、連携の強化を図る
令和2年 (2020)	・ COVID-19感染症拡大のため、院内を中心とした活動へ移行 ・ 電話等による情報共有、療養支援
令和5年	・ 院外活動を徐々に開始 糖尿病コーディネート看護師 計77名 ・ 鈴木万平糖尿病国内賞(チーム)受賞

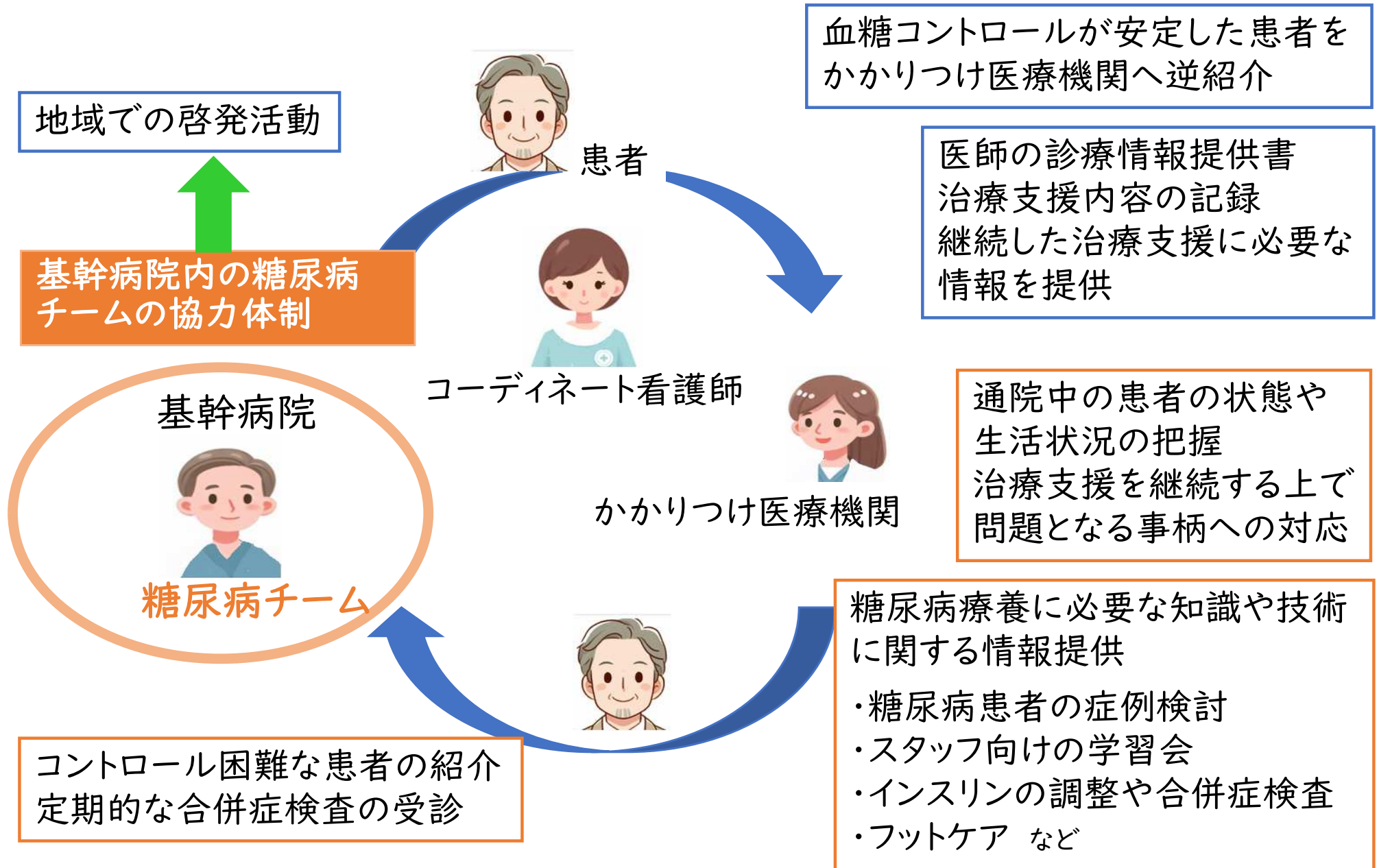
佐賀県糖尿病コーディネート看護師とは

- 糖尿病療養指導士の資格（CDEJ or CDEL）をもつ看護師が佐賀県糖尿病コーディネート看護師育成研修を受け、県知事ならびに佐賀大学学長が任命
- 対象は、県内9か所の糖尿病基幹病院に所属する看護師
- 基幹病院と地域のかかりつけ医療機関との間で事業参加の同意をもとに活動する
- 県内の糖尿病患者の合併症発症・進展予防および糖尿病医療水準の向上を目的とし活動する

「ストップ糖尿病」対策事業 体系図



糖尿病コーディネート看護師の活動



活動紹介

● かかりつけ医での糖尿病療養支援

- スタッフ向けの糖尿病教室
- フットケア勉強会
- 血糖自己測定・インスリン療養支援
- 患者向け教育パンフレット配布
- 新薬に関する情報提供
- 患者カンファレンス

● 地域での糖尿病の療養支援

- 保健師による未受診者の受診勧奨と受診継続の支援
- 保健師と看護師の連携による困難事例の支援
- 他職種間のカンファレンス（医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・保健師）

かかりつけ医療機関でのスタッフ向けフットケア教室



場所：Aクリニック処置室

内容：

- ・糖尿病足病変について
- ・足の観察
- ・フットケアの方法について
- ・患者指導の方法 など

- ◆ 足モデルを使用して爪の切り方や胼胝の削り方の演習を行いました。
- ◆ 和気あいあいとした雰囲気、Aクリニックでのフットチェックやフットケアの実施方法や基幹病院との連携についてなどより具体的な相談、意見交換を行うことができました。
- ◆ Aクリニックでも糖尿病患者さんへの定期的な足チェック、フットケアに取り組んでいます。



離島での糖尿病教室



干物をよく食べるし、塩分も
多いかもしれんねえ～



- 第2回目は『糖尿病性腎症』のお話をするようになりました！

<知って得する糖尿病のお話>

時間 午後1時30分～2時30分

場所 漁業協同組合

担当 糖尿病コーディネート看護師

内容

- ・ 糖尿病ってどんな病気
- ・ 食事で注意すること
- ・ 糖尿病と足の関係
- ・ 糖尿病手帳の話



糖尿病連携手帳を活用したサポート



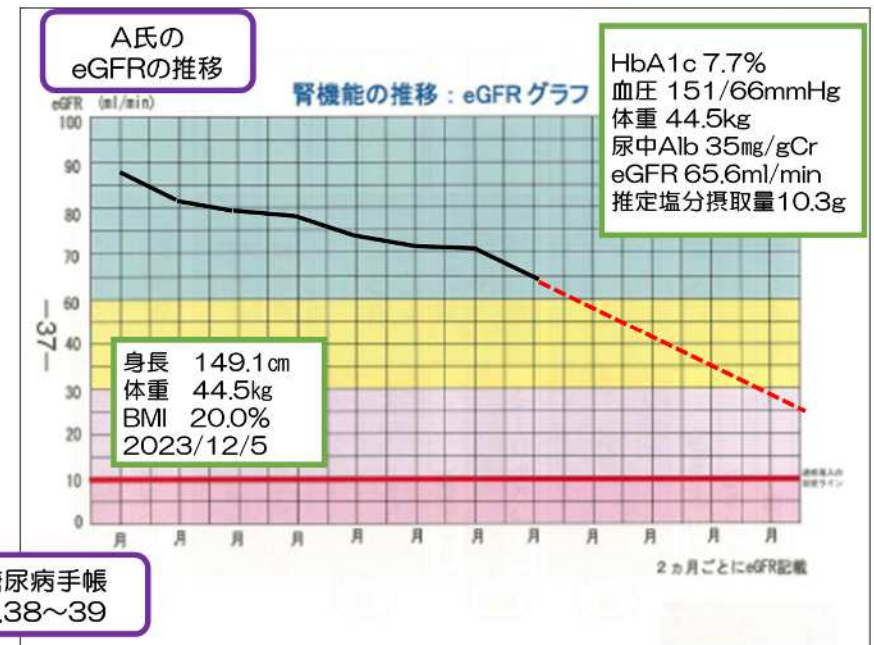
クリニックの先生やスタッフの皆さまへ
連携患者さんの腎臓の状態について
糖尿病連携手帳を使用した説明を行いました。

コーディネーターナース

CKD(慢性腎臓病)の重症度分類 (CON患者)

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満	30-299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明、その他	尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr比 (g/gCr)	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR 区分 (mL/分 /1.73m ²)	G1 正常または高値	≥90		
	G2 正常または軽度低下	60~89		
	G3a 軽度~中等度低下	45~59		
	G3b 中等度~高度低下	30~44		
	G4 高度低下	15~29		
	G5 末期腎不全 (ESKD)	<15		

糖尿病手帳
P.12



糖尿病コーディネート看護師の育成プログラム

- 運営委員会（医師や慢性疾患専門看護師、糖尿病看護認定看護師を含む看護師 計8名）

- 育成研修会

平成24年 平成25年以降

研修内容	時間数	時間数
・ 佐賀県の糖尿病の現状	1	1
・ 佐賀県糖尿病連携手帳	1	0.5
・ 糖尿病コーディネート看護師事業	2	2
・ 糖尿病コーディネート看護師の役割	2	0.5
・ 訪問計画の立案及び演習	6	2
・ 事業の情報交換および事例検討		3
・ 実習		3
計	12	12

- 育成者数/**90名**（H24～R6）

年度	回	主な内容
H25 26名	1	保健師とコーディネート看護師の情報交換・交流
	2	地域での活動における事例紹介（小城・済生会）
	3	地域での活動における事例紹介（嬉野・伊万里有田）
	4	アサーションに関する研修（講師：山田クリス孝介）
	5	糖尿病患者の層別化に関する研修
	6	日本糖尿病学会九州地方会報告（江頭、永渕、河田）
	7	ミニレクチャー「糖尿病の薬の最近の動向」
	8	PC操作方法の演習
	9	第2回公開講座（アバンセ）
	10	受診中断者対策の検討
H26 34名	1	事例検討（伊万里有田）、今年度の活動報告
	2	台風接近のため中止
	3	事例検討（好生館）、「地域包括支援センター」（永渕）
	4	事例検討（済生会）、活動時間の有効活用方法についてGW
	5	事例検討（佐賀）、「佐賀県の糖尿病医療の現状と今後の展望」（安西）
	6	第3回公開講座（ドウイング三日月）
	7	事例検討（嬉野）、各種アンケート報告
H27 39名	1	ワールドカフェ「糖尿病透析外来などの専門的な外来開設のために必要なもの、障害となるもの」
	2	ワールドカフェ「①活動日にしていること②時間の有効活用のための工夫」
	3	日本糖尿病協会療養指導学術集会報告（山下）、ワールドカフェ「保健師との連携について現状と課題」
	4	保健師とコーディネート看護師との連携事例紹介・交流会
	5	4年間の活動の振り返り「成果と課題」
	6	第4回公開講座（高齢者ふれあい会館りふれ）

コーディネート看護師連絡会
介入事例の検討、活動上必要な知識
の共有、スキルアップ